

2024年度

施設番号	66-0336
施設名	昭栄保育園
施設 所在地	昭島市拝島町 3-17-11
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1、活動のテーマ

【テーマ】音

楽器を使った音遊び
水遊びの中で音の発見
落ち葉の感触と音
毎日うたっている歌

【テーマ設定理由】

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
生活の中であふれている音を様々な手法で発見、経験して、一緒に表現したり言葉に繋げ、大人と子ども、子ども同士のかかわりに広がりを持てたらと思い、このテーマにしました。

2、活動スケジュール

春：ブロックでマイクをつくって遊ぶ、新聞紙遊び
夏：水遊び(シートに水を掛けて音を聞く、水のついた足で足跡をつけてみる、タライの水を叩く音、ヨーヨー遊びなど)
秋：落ち葉を踏む音を楽しむ、風船遊び
冬：氷を触る、風の音にさむさを感じる
1年を通して：朝の会、帰りの会を中心にうたをたくさん歌う、楽器に触れる、クリスマス祝賀会で繰り返しの歌をうたったり動作をしてみんなで演じる

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
新聞遊び：新聞紙、一人が何枚でも使える量
水遊び：タライ4～5個、レジャーシート、など
楽器：すず、カスタネット、タンブリン、鉄琴

4、探究活動の実践

〈活動の内容〉

新聞紙遊び：雨で戸外に出られない時などに思い切り破ったり、丸めて投げるなど、音だけでなく体全体で遊べるようにした。
水遊び：レジャーシートをテラスに付けて、子どもが下に入ることで水を掛けた時に「雨の音」を楽しめた。水の強弱を付けて雨の強さを表現し楽しんだ。
ブロックでマイク：普段から遊んでいるレゴブロックでマイクを作ると低い長椅子をステージにして歌ったり踊ったりしてあそびが広がった。
落ち葉を踏む音：さんぽに行く途中で落ち葉の山を見て、誰からともなく山に踏み入って音を楽しんでいた。
歌：手遊び歌から、季節の歌、こどもたちからのリクエストも出ている。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり等〉

(活動の内容、活動中に見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・水遊びでは水の強弱が分かってくると「もっとやって」「つよいのがいいな」と楽しんでいた。
- ・水遊びの後には、蛇口をひねって、出てくる水の勢いの強弱を楽しむ発見もあった。
- ・楽器は初めに持ち方は伝え、リズムは好きなように叩いていたが、ピアノに合わせて叩けるようになり、音(リズム)があった時に嬉しそうな反応があった。
- ・ブロックで壁を叩いて、リズムを刻んだり、叩くところによって音の違いを楽しむ様子もあった。
- ・落ち葉は、初めにやった子を見て、楽しそうな雰囲気を感じて、自然に真似して楽しんでいた。
- ・冬には、窓に当たる風の音で、外を見て木の揺れを見たり、風の強さに厳しい表情をして表現していた。

※活動の様子がわかる写真 2枚以上を貼付 (ホームページで公開します)





5, 振り返り

振り返りによって得た先生の気づき

- ・音にあふれている生活の中で、活動を通して音の出し方に新しい発見をしている子ども達の姿に『こんな見方、あそびかたもあるんだ』と保育者も気付いて、一緒に楽しむことができた。
- ・雑音にしまわらず、音を楽しむ良いきっかけとなった。子どもの視点の面白さも発見できた。
- ・何よりも、子どもが楽しんでいる姿は、自分たちも楽しい。